

認定医試験出題問題とそのポイント

平成8年度既出試験問題より

〔症 例 A〕

氏 名：H. K.

年 齢：28歳

月 経 歴：初経12歳，周期30日，整

妊娠分娩歴：なし

既 往 歴：小学校6年生の時，急性腎炎，その後は治癒

主 訴：妊娠34週，下腹部痛

現 病 歴：最終月経；平成5年10月1日～6日間

平成5年11月30日，妊娠8週3日と診断された

妊娠10週の頃；軽度のつわりがみられた

妊娠32週の頃；下肢に浮腫出現

妊娠34週0日；夜間に嘔気，嘔吐，下腹部痛があったが，家で様子をみていた。翌朝，来院した。

来院時所見：身長156 cm，体重63 kg，意識清明，発熱なし，血圧156/102，胸囲84 cm，子宮底28 cm，全身浮腫，腹部緊満強度で胎児部分の触知が困難。

内 診 所 見；子宮口2指開大，Bishop Score 3点，胎胞を触れない。

外子宮口より出血がわずかに認められる。

超音波所見；写真のごとく子宮壁と胎盤の間に hypoechogenic area（写真1）

推定体重 1,950 g.

胎児心拍陣痛図（CTG）所見；

著明な徐脈と不規則な子宮収縮が認められる（写真2）。

入院時の諸検査結果：

尿 所 見；尿量は6時間で全量50 mlであった。尿蛋白（++），尿糖（-），顕微鏡的血尿強陽性

血 液 検 査；

RBC	305×10 ⁴ /μl	血沈（1 hr）	5 mm
WBC	23,200 /μl	出血時間	10分
Plt	8.0×10 ⁴ /μl	凝固時間	16分40秒
Hb	9.9 g/dl	PT	67%
Ht	29%	Fibrinogen	120 mg/dl
GOT	35 IU/l	FDP	23 μg/ml
GPT	45 IU/l	AT-III	13 mg/ml
T-Bil	1.2 mg/dl		
Na	138 mEq/l		
K	5.5 mEq/l		

